



すみれぐみだより

2020年 11月 第4号

ますます深まる秋を感じながら、自然との触れ合いを楽しんでいる子ども達。園庭に出ると、元気に走り回ったり、カマキリやダンゴムシ、かたつむり等を見つけて観察を楽しんでいます。これから一段と寒さが増す季節になりますが、衣服の調節をこまめにしながら、自然に触れ元気いっぱい戸外遊びを楽しみ、体力作りをしていきたいと思ひます。



楽しかったね

先月の運動会は、お忙しい中ご参加頂きありがとうございました。1日延期となってしまいましたが、子ども達の笑顔、がんばり等、昨年より一回りも二回りも大きく成長した姿を見て頂けたのではないのでしょうか？どの種目にも全力で楽しく取り組む子ども達の真剣な表情がたくさん見られたと思ひます。

遊戯は最高に上手な演技で、見ていて涙が溢れそうになりました。

オリンピックは練習以上のパワーを披露してくれました。

大玉、玉入れは楽しさが子ども達の笑顔に表れていました。

リレーは、スピード感が感じられた走りを見せてくれました。

ひとつひとつの演技、競技が子ども達の自信や満足感、達成感に繋がった運動会だったと思ひます。

たくさんの応援、本当にありがとうございました。



絵本から学ぶこと



毎日の活動の合間にいろいろな絵本の読み聞かせをしています。日本昔話やグリム童話も大好きで、聞きながら笑顔になったり顔をしかめたりと様々な表情を見せています。絵本の世界に入り、想像する楽しさや主人公や登場人物になり心の変化を感じているようです。

月刊誌も毎日読み聞かせ、物語は保育士と一緒に声に出して読んでいます。ひらがなに興味を持ち始めているので、絵本を通して自然と覚えているようです。

10月号の特集では、【まつぼっくりのひみつ】が紹介されていて「やりたーい」と子ども達。園の駐車場にまつぼっくりを拾いに出掛け、絵本と同じように実験してみました。

松の木の下でたくさんのまつぼっくりを見つけ「あつたー」「見つけたよー」の音が響き、中には両手いっぱい抱える子もいました。大きさや形も様々で子ども達なりの気付きもあつたようです。帰園後、拾ってきたまつぼっくりを広げ「うわー、すごーい」とたくさんのまつぼっくりに目をキラキラさせていました。まつぼっくりに付いていたわらじ虫やクモ等も見つけ自然も感じていたようです。まつぼっくりを観察した後、いよいよ実験です。絵本と同じように水に付けてみました。絵本と見比べながら、本当にひらひらが閉じるのかとそわそわして何度も見る子ども達。30分後ひらひらが閉じて小さくなりました。「本当だ」「小さくなつてる」と絵本と同じ現象に興奮して見入っていました。絵本で見るだけではなく、実際に体験してみても感じる事もあつたようです。

子ども達の「やってみたい」をできる限り体験していけるような保育を取り入れ、豊かな心の育ちに繋げていきたいと思ひます。

